

## 調査票集計結果

### 1 【協議・検討事項2】常任委員会の運営について

常任委員会の所管事務調査等で新たな課題、調整(協議)が必要と思われる事項

自由民主党	立憲民主・無所属	公明党	日本共産党
<p>▶常任委員会の議案等審査時の質疑と討論の分割について検証。</p>	<p>▶年間調査テーマの調査終了後、提言や要望書などについて、当局がその後どのように対応したのか進捗を経年で確認する必要があるのではないか。その機会を持つ必要があると考える。</p>	<p>▶所管事務調査の取りまとめについては、必ず提言や発議につなげることを求めるに無理がある。せっかく議会として”発議する仕組み”を確立していこうとするなか、今後は各常任委員会の所管事務調査で得た知見をもとに、政策調整会議・PTに投げかけていくことが必要と思われる。</p> <p>▶委員会審査において、議案と関連がない質問・発言が散見された。改善が求められる。</p>	<p>▶請願や陳情提出者にも当日質問をして答弁できるようにすること。</p>

### 2 【協議・検討事項3】議会の規律・秩序について

議会の規律・秩序における課題や新たなルール作りが必要と思われる事項

自由民主党	立憲民主・無所属	公明党	日本共産党
<p>▶議場への携帯持込み禁止ルールの徹底。</p> <p>▶最近の議員の規律・秩序の取組として、「議会ハラスメント防止条例」というのがあるので、もし、今後こうした取組が必要となるのであれば、協議する場は向上委員会で行うべき。</p>	<p>▶委員会の視察や閉会中の開催などについて、公務最優先の原則で日程調整をしやすくするよう努力すべきである。</p> <p>▶政務活動費の使用について、基準と見直し。</p>	—	—